



KYOTO EXPERIMENT Office
6F 7th Hase Bldg.
229-2 Shoshoi-cho, Nakagyo-ku, Kyoto
604-0862 JAPAN
Tel +81 75 213 5839 Fax +81 75 213 5849

アーティストラインナップ第一弾発表と KEX サポーター制度スタートのお知らせ

国内外から先鋭的なアーティストを迎え、いま注目すべき
舞台芸術作品を上演するフェスティバル、KYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭 2023 の
アーティストラインナップ第一弾として5組のアーティストを発表いたします。

プログラムの全容発表は2023年7月20日（木）です。

どうぞお楽しみに！

そして、この度、寄付（個人、企業版ふるさと納税）を通してKYOTO EXPERIMENT を支援していただける
「KEX サポーター制度」を新たにスタートすることをお知らせいたします。

KYOTO EXPERIMENT の活動の継続・発展のため、周知のほど、よろしくお願いいたします。

👉 参加アーティスト

チェルフィッチュ [東京]

バック・トゥ・バック・シアター [ジーロング (オーストラリア)]

中間アヤカ [神戸]

ダイナ・ミシェル [モントリオール (カナダ)]

マリアーノ・ペンソッティ [ブエノスアイレス (アルゼンチン)]

KYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭 2023

会期👉2023年9月30日（土）から10月22日（日）[23日間]

会場👉ロームシアター京都、京都芸術センター、京都芸術劇場 春秋座、THEATRE E9 KYOTO ほか

主催👉京都国際舞台芸術祭実行委員会

[京都市、ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）、
京都芸術センター（公益財団法人京都市芸術文化協会）、
京都芸術大学 舞台芸術研究センター、THEATRE E9 KYOTO（一般社団法人アーツシード京都）]

最新情報はウェブサイトをご覧ください👉 kyoto-ex.jp

リリースに関するお問合せ先👉 KYOTO EXPERIMENT 事務局（担当：小倉、豊山、前田）

☎604-0862 京都市中京区少将井町229-2 第7長谷ビル6F Tel: 075-213-5839 Fax: 075-213-5849 Mail: pr@kyoto-ex.jp

参加アーティスト

チェルフィッチュ [東京 | 演劇] 新作

岡田利規が全作品の脚本と演出を務める演劇カンパニーとして 1997 年に設立。2007 年クンステン・フェスティバル・デザール（ベルギー）にて『三月の 5 日間』を上演、初めての国外進出を果たす。以降、アジア、欧州、北米にわたる 90 都市以上で上演。フェスティバル・ドートンヌ・パリ（フランス）、ウィーン芸術週間（オーストリア）など世界有数のフェスティバル・劇場の委嘱および国際共同製作による創作も多数。

チェルフィッチュ

今年の演目は？！

チェルフィッチュとしては初めての挑戦となる、日本語を母語としないパフォーマーとの協働による新作『宇宙船イン・ビトゥーン号の窓』を 9 月 30 日～10 月 3 日にロームシアター京都で上演する。

バック・トゥ・バック・シアター [ジーロング | 演劇] 日本初演

知的障害のある俳優を中心に、30 年以上オーストラリアを拠点に活動を続ける劇団。障害のある俳優陣のユニークな思考や経験から新しい形のコンテンポラリーパフォーマンスを生み出し、社会の闇の部分に鋭く照射する演劇作品は世界的に高い評価を得ている。プロフェッショナルな活動だけでなく、障害のある人々のソーシャルインクルージョンの向上や優れた芸術性に焦点を当て、世界各地のコミュニティと積極的なコラボレーションを展開している。



©Kira Kynd

今年の演目は？！

関西にて初紹介となる今回は、2019 年の初演以来、世界各地で上演され、極めて高い評価を得ている『影の獲物になる狩人』を上演する。

中間アヤカ [神戸 | ダンス] 新作

ダンサー。Rambert School of Ballet and Contemporary Dance（ロンドン）で学んだ後、文化庁・NPO 法人 DANCE BOX 主催「国内ダンス留学@神戸」1 期に奨学生として参加。誰かや何かに振り付けられる身体の有り様にこだわりを持ち、ダンスとしか呼ぶことのできない現象を追い求めながら、近年は自身の作品創作にも積極的に取り組む。『フリーウェイ・ダンス』は、クンステン・フェスティバル・デザール（2021）、ポンピドゥー・センター（2021）等で上演を重ね、国際的にも注目を集めている。KYOTO EXPERIMENT 2021 SPRING にて『フリーウェイ・ダンス』の京都バージョンを上演。今回、2 度目の紹介となる。



©Bea Borgers

ダイナ・ミシエル [モントリオール | ダンス] 新作 日本初演

カナダを拠点とする振付家・ライブアーティスト。彼女の作品の題材は、自身の経験であり、即興、ヒップホップ、ダブ、コメディ、映画、彫刻、社会批評など、さまざまな要素によってその経験を拡張しながら、創作を行っている。2014年、NYタイムズ紙にて、その年の注目すべき振付家の一人として紹介される。2017年、ヴェネツィア・ビエンナーレのinnovation in Dance部門で銀獅子賞受賞。

KYOTO EXPERIMENT 2023では、2022年に京都、城崎にて行った滞在制作をもとに創作した新作を上演する。独自のダンス言語によりさまざまな社会規範や既成概念を打破する作品を発表し、世界各地のフェスティバルや劇場に招聘され注目を集める振付家の待望の来日公演となる。



©Richmond Lam

マリアーノ・ペンソッティ [ブエノスアイレス | 演劇] 日本初演

アルゼンチンを拠点に活動する作家・演出家。ビジュアルアーツと演劇を学ぶ。劇場での上演を想定する演劇作品と、サイトスペシフィックに展開するパフォーマンス作品を並行して発表しており、大掛かりなセットや緻密な会話構成で、演劇の構造を幻想的ともいえるフィクションに昇華するその作品は高い評価を得ている。ペンソッティは世界的にも最も名高い演出家の一人であり、世界の30以上の都市で作品を発表している。

日本での劇場作品本格紹介は、今回のKYOTO EXPERIMENTが初めてとなる。



©Bea Borgers

KEXサポーター制度を新たにスタートします！

KYOTO EXPERIMENTは、2010年より毎年京都市内で開催している舞台芸術祭です。国内外の実験的な作品を紹介するユニークなプログラムで、いまや世界に知られる日本でも指折りの国際舞台芸術祭となりました。しかし近年は新型コロナウイルス感染症拡大、国際情勢の変化や京都市の行財政改革の影響を受け、経済的に厳しい状況を迎えており、新たな存続の形を探っています。

2023年度より、寄付を継続的な運営の柱のひとつとしていくために、「KEXサポーター制度」をスタートします。サポーター特典として、オリジナルグッズ、会員限定のスペシャルイベントへのご招待などをご用意しています。また、ふるさと納税の仕組みを利用していることから、住民税等の控除が受けられます。

KYOTO EXPERIMENTの活動の存続・発展のために、本制度の周知のご協力のほど、よろしくお願いいたします。

サポーター募集期間 6月14日～8月21日

詳細 <https://kyoto-ex.jp/donate>